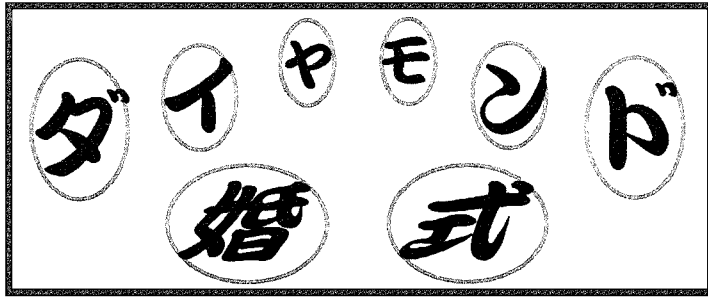


# 60周年



# 親結婚

今年めでたく結婚六十周年を迎えたご夫妻は、昨年より一組多い六組でした。

それぞれのお宅にお邪魔させていただきお話をうかがいましたが、いずれのご夫妻もお元気でユーモアたっぷり話してくれましたので、その一端をご紹介します。



石井芳博・節子さんご夫妻  
(上谷五丁目)

四十年前以上に市内の数人と始めたゴルフが趣味とおっしゃる芳博さん。都留ではゴルフの草分けとしてならし、数々の大会に出場しては優勝をさらっていったそうです。その証拠に、部屋にはトロフィーや楯が所せましと並べられています。今でも、週に一回はゴルフをされているそうですが、なんとハーフ45〜50で回るそうです。とても八十六歳という年齢を感じさせない体力と技術には驚かされますね。

その秘訣はどんなところにあるのか聞いてみると、「若いころほとんどのスポーツをこなした体力が今になって生きているのでは」また、節子さんは「好き嫌いなく何でも食べるのが長生きの秘訣かも」と話してくれました。元気いっぱいのお二人は、三十年來病気をしたことがないそうです。



渡辺濱・きみ江さんご夫妻  
(上谷五丁目)

濱さんは、十年ほど前に独学で始めた布はり絵や水墨画を、今でも週一回中央公民館で生徒達に教えているそうです。

以前から絵は好きで描いていたのですが、濱さんが製作した布はり絵を見ると、その繊細さには驚かされ、絵の具で描いたものでは表現できない力強さを感じることができそうです。

奥さんのきみ江さんは、一昨年倒れるまでは病気一つしたことがなかったそうですが、今ではすっかりお元氣になられ短歌や五段の腕前をもつ習字を書くのが趣味のようです。

また、「二人揃って旅行に行くのが一番の楽しみです。」とおっしゃるお二人は、今でもたまにお出かけになるそうです。



福田松人・富江さんご夫妻  
(上谷五丁目)

九十歳になる松人さんは、今でも近所の用事は自転車に乗って出かけるそうです。若いころは、大月・吉田方面にまで自転車を使い、足腰には自信があるようですが、奥さんの富江さんは用事を済ませて帰ってくるまでは心配で仕方ないそうです。

また、ご自分の信念が社会に尽くすことで、教育委員や保護士などもやられていたとか。

奥さんは、二十六歳の時に大病をしてから自分の身体をいたわるようになり、あまり無理をしないように心がけているそうです。食べ物に関しても好き嫌いはなく、毎日自然にまかせて生きていくのが長生きの秘訣だろうと話してくれました。



志村繁雄・文子さんご夫妻  
(夏狩)

「夫婦揃って仲のいいのが長生きの秘訣だよ。」といきなりお熱い発言。

繁雄さんは、若いころ高飛び、幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、やり投げなどのフィールド競技をほとんどこなし、南都留の代表で県大会に出場した経験があるそうです。今は、散歩が日課となり自然の空気を身体いっぱい吸い込んで健康管理をしているそうです。

奥さんの文子さんは、十二、三年前に始めたゲートボールが日課で、「近所の方々と一緒に頑張って競技することが楽しくて」とおっしゃる顔の色つやは、とても八十代の肌に見えないほど輝いて見えました。